

国分寺市観光協会推奨品

番号	名称	所在地	電話番号
1	こくぶんじベリー 国分寺市商工会女性部	本多2-3-3	042-323-1011
2	ふるさと歴史縁起茶「天平」「勝宝」 お茶の静海苑	日吉町2-15-2	042-575-9632
3	携帯茶寮 お茶の静海苑	日吉町2-15-2	042-575-9632
4	国分寺酒ケーキ ロマン洋菓子店	東恋ヶ窪5-21-3	042-322-2549
5	万葉ポテト ル・スリール・ダンジュ	西元町2-17-10	042-304-3255
6	ファイト最中 だんごの輪島本店	本町4-1-12	042-323-1611
7	恋ヶ窪ワイン (有)なべや清水商店	戸倉1-23-8	042-321-2623
8	純米酒「武蔵国分寺」 国分寺市酒商組合		042-325-3939
9	武蔵国分寺ふるさと一筆箋・封筒 山水堂	南町3-23-3	042-324-1221

■ 国分寺市へのアクセス

【電車をご利用の方】

国分寺駅 …… JR中央線(JR新宿駅から約20分)
西武国分寺線(東村山駅から約12分)
西武多摩湖線(萩山駅から約8分)

西国分寺駅 …… JR中央線(JR新宿駅から約25分)
JR武蔵野線(JR武蔵浦和駅から約25分)

【車をご利用の方】

国立府中IC …… 中央自動車道の国立府中ICから、国道20号、東八道路を經由して、約30分でJR国分寺駅前に到着します。

【バスをご利用の方】

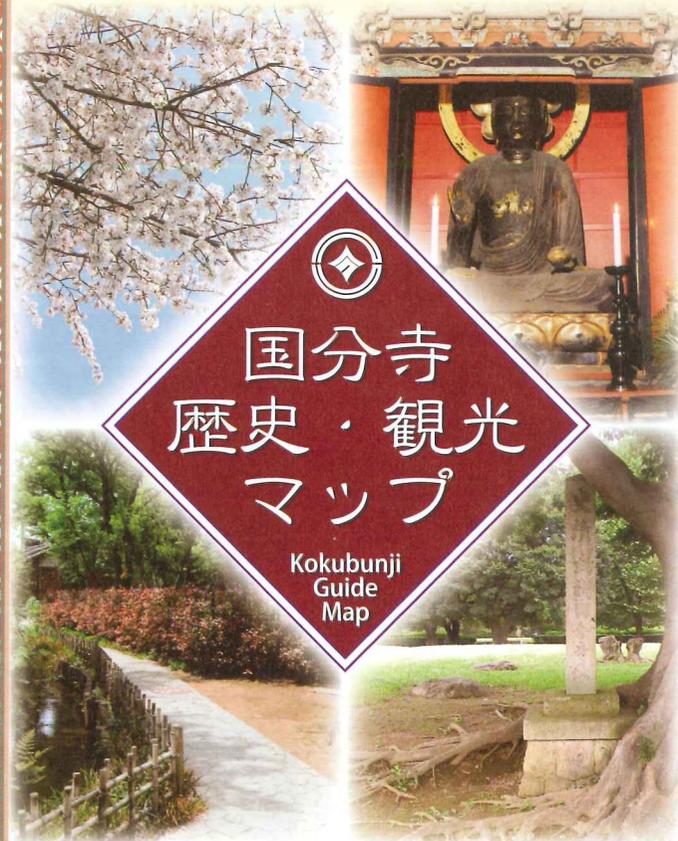
府中駅、小平駅、花小金井駅から、JR国分寺駅へのバスがでています。

国分寺市観光協会・国分寺市教育委員会 共同制作

国分寺歴史・観光マップ

問合せ先 **地図面** 国分寺市観光協会
(国分寺市役所経済課内) TEL: 042-325-0111 (代)
文化財面 国分寺市教育委員会 ふるさと文化財課
(武蔵国分寺跡資料館内) TEL: 042-300-0073

発行 **国分寺市教育委員会** 平成23年11月
国分寺市観光協会



緑あふれる武蔵野の
天平の史跡のまち

こくぶんじ恋のみちコース

【距離：約5.0km、所要歩行時間：約1時間50分】

「美しい日本の歩きたくなるみち500選」の一つ、史跡・名所をふんだんに盛り込んだコースです。JR中央線の北側遊歩道には、ハナミズキの「ビューティーレッド」など、市内産の樹木が植えられています。コース付近には、その他の名所も多く、様々なコースアレンジを楽しめます。

※**姿見の池**………野川源流と武蔵野コースをご覧ください
※**都立観ヶ谷戸庭園**……はげの道コースをご覧ください

1 伝鎌倉街道【市重要史跡】



MAP D-1

鎌倉時代に、のちの江戸時代に鎌倉街道と呼ばれる道が開かれました。この道は鎌倉道の「上道」と呼ばれ、上野(群馬県)、信濃(長野県)方面に向かう主要道路の一つでした。現在、約120メートルほどの、国分寺崖線を切り通した歩道が、当時の雰囲気を感じさせてくれます。



西元町4-11、12 Pなし ☎042-300-0073(ふるさと文化財課)

2 市立歴史公園 武蔵国分尼寺跡【国史跡】

MAP D-1

尼寺は東山道武蔵路の西側に建立されました。現在は史跡の保存整備も終了しています。平成19年「日本の歴史公園100選」に選定されました。公園には尼寺の主要伽藍の規模、基礎工事の様子を見学できるように、掘立柱塀の一部復元や、東門、中門の位置表示、尼坊の礎石復元、推定金堂跡の基壇復元、基壇版築のはぎ取り標本の観察施設などがあります。



西元町4-3、4、11 Pなし ☎042-300-0073(ふるさと文化財課)

3 武蔵国分寺跡 僧寺金堂・七重塔ほか【国史跡】

MAP D-1

天平13年(741)、聖武天皇は鎮護国家を祈念して、諸国に国分寺(僧寺(金光明四天王護国寺)と尼寺(法華滅罪寺))を建立するように命じました。武蔵国では国府(現府中市)に近く、都へ通じる東山道武蔵路沿いの広大な平地と東西に連なる国分寺崖線の麓、豊かな湧水をもつ現在の西元町一帯が好所として選ばれました。



国府とともに政治・文化の中心として栄えましたが、鎌倉時代末に「分倍河原の戦い」で焼失しました。武蔵国分寺跡と関連する遺跡は、東西1.5km、南北1kmにおよび、諸国の国分寺跡と比べ規模が大きく、歴史的にも重要なことから大正11年に国史跡に指定されました。現在は、僧寺中枢地区の史跡整備を行っています。

西元町一丁目、三丁目 Pなし ☎042-300-0073(ふるさと文化財課)

4 万葉植物園【市重要天然記念物】



MAP D-1

故皇野亮勝前国分寺住職が、武蔵国分寺跡を訪れる人々が、奈良時代の文化や思想を理解しやすいようにと、国分寺が栄えた時代と同時期に編み込まれた「万葉集」に歌われた約160種の植物を例歌とともに展示しています。



西元町1-13 ☎042-325-0111(代)(国分寺市観光協会)

5 国分寺



MAP D-2

医王山最勝院国分寺は、真言宗豊山派の寺院です。「分倍河原の戦い」で焼失した武蔵国分寺は新田義貞の寄進により薬師堂が再建されました。江戸時代に入ると徳川幕府は、由緒ある寺社に領地を与えて保護しました。国分寺の薬師堂も三代將軍家光から慶安元年(1648)に9石8斗9升8合の寄進を受け、朱印状を下付されました。以後、十四代家茂までの朱印状が残っており、享保18年(1733)には本堂も再建されています。現在の本堂は昭和62年に改築されたものです。



西元町1-13 ☎042-325-0111(代)(国分寺市観光協会)

6 史跡の駅 おたカフエ



MAP D-2

「史跡の駅」は、現在全国に約1500ヵ所ある「まちの駅」の一つで、トイレのある無料休憩所兼案内所として、国分寺でも来訪者・散策者の多い史跡武蔵国分寺跡につくられました。おたかの湧水園への入園券の販売、文化財一般向け図書の販売、史跡やその周辺についての紹介、国分寺の名産品の販売などを行っています。また、史跡ガイドボランティア(無料・要申し込み)の受付も行っています。



西元町1-13-6 ☎042-312-2878 入9:00~17:00
休月曜日、年末年始(祝日・振替休日の場合はその翌日)

7 国分寺市おたかの湧水園

MAP D-2

お鷹の道沿いにあり、国分寺崖線の豊かな自然を残す園内は、崖線の下から流れ出た湧水が池を作り、ケヤキなどの大木が生い茂るなど季節ごとに地域の原風景が楽しめます。



園の入り口には、江戸時代後期の弘化5年(1848)に建てられた旧国分寺村の名主家の長屋門があります。また、園内の北には、自然のままの湧水源を観察できる場所もあります。

西元町1-13-10 Pなし ☎042-323-4103(武蔵国分寺跡資料館)
入9:00~17:00(入園は16:45まで)。一般100円(年間パスポート1000円)、中学生以下無料(その他減免規則あり) 休月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/3)

8 お鷹の道



MAP D-2

江戸時代に尾張徳川家の御鷹場だったことに由来して、「お鷹の道」と名付けられた散策道です。国分寺市を代表する名所として親しまれ、四季折々の自然が楽しめます。湧水群の清流には、アブラハヤなどの小魚や、スジエビなどが生息し、ホタルの繁殖に取り組み団体もあります。



西元町一丁目、三丁目

9 国分寺市武蔵国分寺跡資料館

MAP D-2

武蔵国分寺跡資料館は、展示資料や解説を「見る」、「学ぶ」、そして、実際に史跡を「訪ねる」をコンセプトにした資料館です。

長年の発掘調査の成果をもとに、主に史跡から出土した資料を展示して、武蔵国分寺跡の概要や進行中の史跡整備事業などを紹介しているほか、近年の発掘調査をまとめた映像や、実際に瓦に触れて体感するコーナーもあります。文化財関係図書も販売しています。



主な展示資料：瓦、土器、埴輪、銅製品、鉄製品など
東京都指定文化財：銅造観世音菩薩立像、唐草四獣文銅蓋、武蔵国分寺跡出土の緑釉花文皿
市重要有形文化財：立川ロー層X層出土土器群、国分寺所蔵資料(旧国分寺市文化財保存館資料)、縄文土器・石器、硬玉製大珠、阿弥陀三尊来迎画像板碑、徳川將軍家寺領安堵朱印状、医王山縁起(版木)

西元町1-13-10 Pなし ☎042-323-4103
入9:00~17:00(入館は16:45まで)。おたかの湧水園の入園料が必要
休月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/3)

10 真姿の池湧水群【東京都指定名勝、全国名水百選】

MAP D-2

嘉祥元年(848)、絶世の美女・玉造小町が重い病気に苦しみ、国分寺の薬師如来に祈ると、一人の童子があらわれ池の水で身を清めるように言いました。小町が、身体を洗うとたちまち病気が治癒し、元の美しい姿に戻ったという伝承から、この池を「真姿の池」と呼ぶようになりました。この真姿の池湧水群などの国分寺市内の湧水は、野川の源流です。野川には世田谷区の二子玉川で多摩川に合流しています。



西元町一丁目 ☎042-325-0111(代)(国分寺市観光協会)

11 都立武蔵国分寺公園



MAP C-2

旧国鉄・鉄道学園跡地につくられた、1周約500メートルの園路に囲まれた円形の芝生広場が特徴の都立公園です。園内には、桜や藤などの様々な樹木や花があり、滝や池、噴水などの水辺もあります。解放感のある広い芝生は家族連れの憩いの場として人気です。



蒸気機関車の車輪を使ったユニークな中央鉄道学園記念碑もあります。毎年行われる「国分寺まつり」の会場になります。

泉町2-2-1 P有料20台 ☎042-323-8123(武蔵国分寺公園サービスセンター)

12 不動橋と石造物



MAP D-2

国分寺村の元町用水と野川が合流するところに架かる橋です。橋の北側に不動明王碑が祭られていることから、名付けられました。碑の横には庚申塔があり、松の木をはさんで、石橋供養塔があります。供養塔は、かつて石橋だった不動橋を供養する意味と、村に災害の侵入を防ぐ意味から天保3年(1832)に建立(再建)されました。



南町3-1

野川源流と武蔵野コース

【距離：約6.2km、所要歩行時間：約2時間10分】

国分寺駅北口にも歴史を物語る物が残り、夙妻太夫と武蔵野夫人の女性二人に思いをめぐらせると、恋ヶ窪という地名が切なくロマンチックに感じられます。

1 恋ヶ窪東遺跡柄鏡形敷石住居跡 MAP C-2

えかがみがたしきいしじゅうきよあと

縄文時代の中期末から後期にかけて、関東から中部地方で、住居の床面に石(礫)を敷くことが流行しました。この住居跡は、出入口部が突出した様子から「柄鏡形敷石住居跡」と呼ばれています。型どりをして復元展示をしています。



📍 本町四丁目 公園内 📌 なし ☎ 042-300-0073 (ふるさと文化財課)

2 東山道武蔵路跡 恋ヶ窪地区【国史跡】 MAP C-1

どうざんどう むさし みちあと

恋ヶ窪谷低地は、古代も湿地が広がる地域でした。恋ヶ窪地区では、東山道武蔵路を直線で作るために敷粗朶工法と呼ばれる、葦の茎や枝葉を敷いて地盤の滑りを防止し、さらに土を交互に重ねて基盤強化した痕跡が見つっています。姿見の池に解説板があります。



📍 西恋ヶ窪一丁目 📌 なし ☎ 042-300-0073 (ふるさと文化財課)

3 姿見の池【都名湧水57選】 MAP C-1

鎌倉時代、恋ヶ窪は宿場町として栄え、遊女達が池で、朝な夕なに自らの姿を映していたことから「姿見の池」と呼ばれるようになったと伝えられています。恋ヶ窪という地名の由来の一つともいわれています。昭和に入り一度埋め立てられましたが、現在は緑地保全地区として整備され、かつての武蔵野の里山風景を見ることが出来ます。「武蔵野夫人」(大岡昇平著)に登場したほか、野鳥が観察できるスポットとしても人気の名所となっています。



📍 西恋ヶ窪1-8 📌 なし ☎ 042-325-0111 (代) (緑と水と公園課)

4 一葉松 (東福寺境内) MAP C-1

ひと はまつ

恋ヶ窪伝説に由来する一葉の松は、いつしか「一葉松」と呼ばれるようになりました。言い伝えの一葉松は、昭和56年(1981)に枯れてしまいましたが、現在、実生の松が東福寺境内に植えられ、見ることが出来ます。



📍 西恋ヶ窪1-39-5 ☎ 042-325-0111 (代) (国分寺市観光協会)

5 西恋ヶ窪緑地「エックス山」 MAP B-3

国分寺崖線の最北端に位置する約1万平方メートルの樹林地です。遊歩道が整備され、樹齢100年余の樹木が残り、貴重な自然環境が維持されてきました。かつて、X字型に交わる道があったことから、「エックス山」と呼ばれています。

📍 西恋ヶ窪3-30 ☎ 042-325-0111 (代) (緑と水と公園課)

6 恋ヶ窪用水跡 MAP B-4

玉川上水が完成した4年後の明暦3年(1657)に、国分寺村、恋ヶ窪村、貫井村(現小金井市内)の3ヶ村組合が、江戸幕府に願い出て水田用に分水した国分寺村分水の一部で、恋ヶ窪用水と呼ばれています。市内の分水の中で最も古く、大きな堀は昔のままの姿を残しています。



📍 西恋ヶ窪1-47 ☎ 042-325-0111 (代) (緑と水と公園課)

7 熊野神社 MAP B-4

創建は不明、元弘3年(1333)「分倍河原の戦い」に巻き込まれ社殿が焼失したと伝えられています。境内には文明18年(1486)当地を訪れ、恋ヶ窪の地名を詠んだ聖護院道興の歌碑や、幕末に江戸で俳句の宗匠として活躍した宝雪庵可尊が建立した芭蕉句碑があります。

📍 西恋ヶ窪1-27-17

8 日立中央研究所庭園 MAP C-2

大正時代は実業家の別荘で、昭和17年に研究所が設立されました。庭園内には約27,000本の樹木や野鳥が多く、豊富な湧水は「野川」の主要源泉の一つです。通常は立ち入れませんが、年2回(春4月・秋11月)の日曜日に一般開放があります。



📍 東恋ヶ窪一丁目

9 電車開通記念碑 MAP B-4

明治22年(1889)に、新宿・立川間で開通した甲武鉄道(現在の中央線)が政府に買収され、その後大正11年(1922)に国分寺駅まで電化が進み、蒸気機関車から電車になったのを記念して、同年11月21日に建てられた碑です。



📍 本多2-3 📌 なし ☎ 042-325-0111 (代) (国分寺市観光協会)

10 このてかしわ(祥応寺境内)【市重要天然記念物】 MAP B-4

ヒノキ科の常緑針葉樹で、中国北西部原産です。本多新田開発時、祥応寺を旧国分寺村より引寺した際に移植したと伝えられています。当初は本堂前の左右に植えられていましたが、昭和初期に左側の1本が枯れ、現在は右側の木だけが残っています。枯れた木の根で地蔵尊が彫られ、地蔵堂に安置されています。



📍 本多4-2-2 ☎ 042-325-0111 (代) (国分寺市観光協会)

11 国分寺市民俗資料室 MAP B-5

昭和50年から、市史編さん事業が開始され、編さん過程で収集した写真・古文書やその後、寄贈を受けた民具などを収蔵し、国分寺市内の農業、特に麦作りに関わる農具を展示しています。



📍 本多5-24-11 📌 4台 ☎ 042-324-7323 🕒 10:00~16:00。無料
休 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始(12/28~1/4)

12 日本の宇宙開発発祥の地記念碑 MAP B-5

昭和30年(1955)、糸川英夫博士率いる東大生産技術研究所が、南部銃製造所跡(現在の早稲田実業学校)で、長さ23cmの小型ロケット(通称ペンシルロケット)の水平発射実験を行いました。平成22年6月14日に帰還した探査機「はやぶさ」が向かった小惑星「イトカワ」の地名の一つは宇宙開発発祥の地「国分寺」と命名されています。



また、記念碑の東側には王貞治氏 第1号国民栄誉賞記念碑があります。

📍 本町1-2-1 早稲田実業学校校門

13 本町遺跡(国分寺村石器時代遺跡) MAP B-5

明治27年(1894)、日本人単独による日本初の考古学の発掘調査が行われた遺跡です。考古学者の大野延太郎と鳥居龍造は切り崩した崖の部分に、石器などが露出している層を発見し、『東京人類学雑誌』に発表しました。

📍 本町二丁目、南町二丁目 📌 なし ☎ 042-300-0073 (ふるさと文化財課)

国分寺市のその他の文化財

■ 武蔵多喜窪遺跡第一号住居跡出土品一括【国重要文化財】

昭和24年の多喜窪遺跡の調査で多数の住居跡が発見されました。縄文時代中期の第1号住居跡は、遺物が豊富で特に土器は蛇身装飾を文様に取り入れたものなど、力強く豪華で優れた物が多く、当時の生活状況を窺い知ることができる資料です。



■ 木造書見台 墨書銘「弘治二年」【市重要有形文化財】

台座の裏に「弘治二年八月十六日武蔵国最勝院本堂用」の墨書があります。弘治2年(1556)の戦国時代の文字資料として貴重な品です。

■ 本多良雄家古文書【市重要有形文化財】

古文書等総点数4,996点。近世から明治10年代の国分寺村・本多新田の村落史料など。

■ 戸倉義助家古文書【市重要有形文化財】

古文書総数1,459点。戸倉新田の名主を務めた家の史料です。

姿見の池にまつわる恋ヶ窪伝説

鎌倉の源頼朝に仕えた秩父の庄司畠山重忠は、鎌倉街道の恋ヶ窪宿で遊女夙妻太夫と出会い、深く結ばれる仲となりました。重忠が平家追討のため西国へ旅立つ際に、夙妻太夫は重忠の身を案じ、一緒に連れて行って欲しいと頼みましたが、戦いに女性を連れて行くことはできないため、重忠は一人で出征し、残された夙妻太夫は、毎日重忠の身を案じて暮らしていました。

夙妻太夫に思いを寄せる男が、二人の仲を引き裂こうと「重忠が戦いで討ち死にした」と嘘を告げると、夙妻太夫は悲しみにくれて姿見の池へ入水自殺してしまいました。夙妻太夫の死を哀れんだ村人が手厚く葬り墓印として松を植えると、その松は夙妻太夫の悲しみのため一葉になっていました。その後、戻った重忠が夙妻太夫の死を知り、供養のために無量山道成寺を建立して、阿彌陀如来立像を安置しました。

武蔵国分寺跡 コース

【距離：約3.6km、所要歩行時間：約1時間20分】

市内の文化財集中地区です。約1270年前に建立された武蔵国分寺跡は尼寺跡の整備が終了して歴史公園となりました。また湧水と人々の暮らしが調和している「真姿の池湧水群」など歴史とそれを育んだ自然に触れることができます。

※万葉植物園・おたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館・お鷹の道・真姿の池湧水群・武蔵国分寺跡 僧寺金堂・七重塔ほか・市立歴史公園 武蔵国分寺跡・伝鎌倉街道……**こくぶんじ恋のみちコース**をご覧ください

1 とうさんどう むさしみちあと 東山道武蔵路跡 【国史跡】 MAP C-1

東山道は、駅制に基づいて7世紀後半から8世紀前半にかけて整備された都と地方の国府を結ぶ幹線道路(七道)の一つです。

東山道武蔵路は、武蔵国が東山道に属していた時代に、都から信濃国(現在の長野県)や上野国(現在の群馬県)を経由して東へ走る東山道本道から分岐し、武蔵国へ南下するための支路です。泉町二丁目一帯では約340メートルにわたる直線道路跡が発掘され、現在は側溝跡や道路幅をアスファルト上に平面表記しているほか、遺構再生展示もあり、その広大さに当時の姿を実感できます。



📍 泉町二丁目 📍 なし
☎ 042-300-0073 (ふるさと文化財課)

2 市立歴史公園 史跡東山道武蔵路 【国史跡】 MAP D-1

泉町の東山道武蔵路の南側の延長上にあり、平成18年度の発掘調査では、3期にわたる道路の変遷状況や、道路に関わる祭祀の痕跡、道路側溝と重なる住居跡が見つかっています。

平成23年4月に歴史公園として開園しました。



📍 西元町二丁目 📍 なし
☎ 042-300-0073 (ふるさと文化財課)

3 はしたてあなじゅうきょあと 土師竪穴住居跡 【市重要史跡】 MAP D-1

薬師堂の西側で、武蔵国分寺跡を区画する北側の溝を発掘調査した際に、見つかった4つの住居跡の一つです。

名称の「土師」は、「土師器」を使用していた時代(古墳時代から平安時代)という意味です。



📍 西元町1-13 国分寺公園内

4 国分寺薬師堂 【市重要有形文化財】 MAP D-1

国分寺境内にあり、建武2年(1335)に新田義貞の寄進により、僧寺金堂跡付近に建立されたものが、宝暦6年(1755)ごろに現在の場所に建て替えられました。

堂内には重要文化財の木造薬師如来坐像が安置されています。また、江戸の書家、深見玄岱が東大寺の寺額を模して書いたといわれる「金光明四天王護国寺」の寺額が掲げられています。薬師堂の裏には、四国八十八ヶ所巡り石仏群があり、札所の番号や詠歌などが刻まれています。



📍 西元町1-13 国分寺境内 ☎ 042-325-0111(代) (国分寺市観光協会)

5 もくぞうやくしにょらいざぞう 木造薬師如来坐像 【国重要文化財】 MAP D-1

彫彫、漆箔が施された寄木造による半丈六(高さ約1.91メートル)の像で、平安時代末ごろの作といわれています。厨子は江戸時代のもので、光背・台座・薬壺も同時代に補われています。寺の縁起では元弘3年(1333)に武蔵国分寺が戦乱に巻き込まれて焼失した際に、自ら逃げ出し無事であったと書かれています。

江戸時代には、ほぼ33年に1回開帳を行い、多くの信者を集めました。現在は毎年10月10日に開帳が行われています。

両脇の日光・月光菩薩は室町時代の作といわれ、また、十二神将の胎内からは、元禄2年(1689)の墨書銘が見つかっています。



📍 西元町1-13 国分寺境内 ☎ 042-325-0111(代) (国分寺市観光協会)

6 国分寺仁王門 【市重要有形文化財】 MAP D-1

国分寺境内にあり、宝暦年間(1751~1764)に建造された八脚門です。使用している木材の一部は、新田義貞が再興した国分寺薬師堂の古材を使用していると伝えられ、『新編武蔵風土記稿』にもその説が紹介されています。

門の左右には、作者不明で享保3年(1718)に作られた阿(向かって右、口を開いている)吽(向かって左、口を閉じている)の仁王像が安置されています。



📍 西元町1-13 国分寺境内 ☎ 042-325-0111(代) (国分寺市観光協会)

7 こうやまき 【市重要天然記念物】 MAP D-1

国分寺本堂の裏山に高く生育し、近在の「まき」の木では最も古く、樹齢は約300年、高さ約20メートル、幹の直径は約1メートルあります。こうやまきは、日本特産のスギ科の常緑喬木で、庭木として、特に寺院や神社で植えられています。材は建材や、桶などの器材に使用されます。



📍 西元町1-13 国分寺境内 ☎ 042-325-0111(代) (国分寺市観光協会)

8 国分寺楼門 【市重要有形文化財】 MAP D-2

国分寺門前にあり、前沢村(現東久留米市内)の米津寺(米津出羽守田盛の菩提寺として創建された寺)の楼門を明治28年に移築したものです。三間一戸の楼門で、2階には十六羅漢像(現在13体)を安置しています。



📍 西元町1-13 ☎ 042-325-0111(代) (国分寺市観光協会)

9 市立歴史公園 史跡武蔵国分寺跡 【国史跡】 MAP D-2

金堂、講堂、七重塔などの主要建物がおかれた僧寺伽藍地の北限の境界溝がある公園です。国分寺を取り囲む素掘りの溝は、幅2.1~3.0メートル、深さ0.8~1.2メートルあり、ここでは地下に埋没した溝の様子を復元した断面を見ることができます。



📍 西元町一丁目 📍 なし ☎ 042-300-0073 (ふるさと文化財課)

10 国分寺市文化財資料展示室 MAP D-1

武蔵国分寺を営繕する施設(修理院)と考えられる鍛冶工房跡が見つかった市立第四中学校内から出土した瓦、土器、鉄製品などを中心に展示しています。また、国分寺跡の整備事業を紹介する映像の放映や、住田正一古瓦コレクションのうち、東山道、東海道諸国の古瓦を展示しています。



📍 西元町3-10-7 📍 なし ☎ 042-323-3231 🔴 9:00~17:00 (入館は16:45まで)。無料 📅 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/3)

11 市立黒鐘公園 MAP D-1

国分寺跡と伝鎌倉街道に隣接している公園です。桜の季節には花見の名所として知られ、多くの方が訪れます。園内には、地形を利用した遊具が豊富に設置されており、子ども連れに人気のスポットです。



📍 西元町4-10-47 📍 なし ☎ 042-325-0111 (代) (緑と水と公園課)

12 伝祥応寺跡・塚跡 MAP D-1

国分寺跡から伝鎌倉街道の切り通しに入って、約90メートルのところまで西側の階段を上ると伝祥応寺跡、東側を上ると塚跡があり、いずれも中世の遺跡です。伝祥応寺は、本多四丁目の祥応寺の前身寺院であったといわれ、塚も伝祥応寺跡と関係する修法壇跡と推測されています。鎌倉街道沿いに中世の寺院と塚が残っている点でも貴重な遺跡です。



📍 西元町4-1 ほか 📍 なし ☎ 042-300-0073 (ふるさと文化財課)

13 武蔵台遺跡敷石住居跡 《府中市》 MAP D-1

武蔵台遺跡では、縄文時代の竪穴住居跡が80軒ほど見つかっています。ここでは、発掘した時の状態の柄鏡形敷石住居と呼ばれる縄文時代中期(約4000年前)の住居跡を移して展示しています。

📍 府中市武蔵台二丁目

武蔵野新田・五日市街道コース

【距離：約5.6km、所要歩行時間：約2時間】

1 鉄道総合技術研究所

MAP B-2

昭和17年に鉄道技術研究所の移設が決まりましたが、戦争で中断し、昭和34年に移転してきました。その後、新幹線の「ひかり」やリニアモーターカーの研究など鉄道技術の最先端の研究が行われています。昭和61年現在の名称に改称。



☑ 光町2-8-38

2 国分寺市新幹線資料館

MAP B-2

ひかりプラザ北側にある1両の新幹線の車両は、昭和44年に製造された試験用車両で、鉄道総合技術研究所から市に無償譲渡されたものです。内部にはパネル・模型などを展示し、新幹線の研究の歴史を知ることができます。「光町」の名前は、新幹線「ひかり号」に由来して名付けられました。



☑ 光町1-46-8 ひかりプラザ ☎ 042-573-4370 ⏰ 10:00～16:30
休 第2・第4月曜日(休日の場合はその翌日)、年末年始(12/28～1/3)

3 稲荷神社《光町》

MAP B-2

平兵衛新田の鎮守です。道に迷った名主を白狐が案内しました。名主は白狐がお稲荷様の使いであったと思い、姿を消した場所に神社を建立しました。参道の安政6年(1859)の石橋は神社前の用水路に架かっていました。

☑ 光町3-17

4 川崎平右衛門及び観音寺中興開山供養塔(観音寺境内)【市重要有形文化財】

MAP B-1

新田開発の苦勞を偲んで、観音寺が中藤村から中藤新田に移転した時の住職阿闍梨法印亮瑞と、移転に尽力した幕府代官川崎平右衛門を供養するために住職と農民が寛政7年(1795)に建立した宝篋印塔です。



☑ 西町2-27-8 ☎ 042-325-0111(代)(国分寺市観光協会)

■ 武蔵野新田成立期の御用留【市重要有形文化財】

榎戸新田の名主を務めた家の近世史料です。新田成立期の御用留など5冊は、幕府の開発奨励策や、新田保護政策の変遷を知ることができる貴重なものです。

■ 元文元年野中新田検地帳【市重要有形文化財】

野中新田六左衛門組の名主が所有していたもの。元文元年(1736)の武蔵野新田一斉検地で作成された検地帳の控えです。

■ 南北武蔵野新田養料金始末書【市重要有形文化財】

武蔵野新田を世話する武蔵野惣代も務めた家の文書です。寛政4年(1792)まで武蔵野新田養料金の詳細が記録されています。

■ 疫病神の詫び証文3点【市重要有形民俗文化財】

厄災が家に入らないように戸口などに貼ったお札の一種で江戸時代の民俗資料。

■ 村巨細日記【市重要有形文化財】

文明18年(1486)京都の聖護院門跡興准後の恋ヶ窪村来村から、名主が隔年番になる明治3年まで記されている村政日記です。

約270年前に広大な武蔵野が開発され、多くの人々が移住してきました。その開発の苦勞を物語る文化財の数々をめぐります。

5 神明社《西町》

MAP B-1

中藤新田の鎮守です。国分寺崖線上に観音寺と並んで西面しています。観音寺と共に開発当初から計画的に配置されました。社殿は神明造りです。

☑ 西町2-27-10

6 子育て地蔵(高木八幡宮境内)

MAP A-2

高木八幡宮は、野中新田六左衛門組の小子高木の鎮守です。新田開発の直後、元文4年(1739)造立の子育て地蔵は、市内の石造物の中でも古い部類に属します。

☑ 高木町3-9



7 毘沙門堂(鳳林院境内)

MAP A-2

野中新田の開発計画が進められている時に、指導者の1人の夢の中に毘沙門天があらわれ、計画の成功を告げたと伝えられています。毘沙門天は堂内に安置され、今でも大切に信仰されています。

☑ 並木町2-33-14



8 川崎・伊奈両代官謝恩塔(妙法寺境内)【市重要有形文化財】

MAP A-2

幕府の新田農民援助策を立案した川崎平右衛門と、継続した伊奈半左衛門に感謝して南北武蔵野新田80余の村々が、寛政11年(1799)に建てた宝篋印塔です。建立の経緯は内部から発見された市重要有形文化財の「武蔵野新田養料金一件始末書」に記載されていました。

☑ 北町3-1-1



9 愛宕神社

MAP A-2

榎戸新田の鎮守です。五日市街道に面して野中新田六左衛門組と榎戸新田の集落が交互に並ぶという珍しい状態となっていました。火防の神様を祭っています。

☑ 北町2-13-5

10 神明社《北町》

MAP A-3

野中六左衛門組の鎮守です。野中新田の発願は享保7年(1722)で、元文元年(1736)に鎮守となりました。境内には用水路が残っています。祭神は天照大御神です。社殿は神明造りです。

☑ 北町1-13-5

武蔵野新田の開発

徳川吉宗の八代将軍就任時には、江戸幕府は財政難に陥っていたため、吉宗は後に「享保の改革」と言われる幕政改革を行いました。

改革の一環で享保7年(1722) 荒地などを開発する新田開発奨励が全国に出され、国分寺崖線上の武蔵野の開発が始まりました。その結果、市内では8つの新田が誕生し、それまであった2つの村を合わせて10の村となりました。

当初、新田に移り住んだひとびとの生活は過酷で、凶作により離散者や餓死者が出たりしました。幕府は人材登用を行い、農民の保護政策を実施し、やがて開発が軌道に乗りました。

新田は家並み・農耕地・道・神社や寺院が計画的に配置されました。屋敷の周囲にあるケヤキなどの防風林が新田村落の景観を形作っています。

はげの道コース

【距離：約2.5km、所要歩行時間：約1時間】

1 都立殿ヶ谷戸庭園【国名勝、都名湧水57選】

MAP C-3

大正初期、三菱合資会社重役の別邸として造られた後、昭和4年に旧三菱財閥の岩崎彦弥太氏が買収し、本館、茶室(紅葉亭)などが整備され、和洋折衷の回遊式林泉庭園として完成しました。昭和49年に都が買収し、都立庭園として開園しました。園内の「次郎弁天の池」は野川の水源の一つです。武蔵野台地と崖線の自然が残り、アカマツ・モミジなどの樹木や野草、昆虫などが見られるほか、様々な行事が催されます。平成23年9月、別荘庭園として多摩地域初の国名勝に指定されました。



☑ 南町2-16 ☑ なし ☎ 042-324-7991 ⏰ 9:00～17:00(入園は16:30まで)。一般及び中学生…150円(20名以上の団体…120円)、65歳以上…70円(20名以上の団体…50円)(小学生以下及び都内の中学生は無料) 休 年末年始(12/29～1/1)

2 もみじ橋遊歩道

MAP D-2

野川に架かる橋がもみじ橋で、橋の欄干にもみじの模様を散りばめています。並木のある散歩道には、所々にベンチがあります。遊歩道の距離は短いですが、人気の散歩道です。



☑ 東元町2-18 ☑ なし ☎ 042-325-0111(代)(国分寺市観光協会)

3 新次郎池(東京経済大学内)【都名湧水57選】

MAP B-5

池の周囲5カ所の湧水が流れ込んでいます。以前はワサビ田として利用されていたものを、元学長北澤新次郎氏の時代に池として整備し、池の名は北澤氏にちなんで名付けられたといわれます。東京経済大学の憩い場となっています。



☑ 南町1-7-34 ☎ 042-328-7724(東京経済大学 広報課)

4 くらぼね坂

MAP B-5

昔、この道は東が切り立つような赤土の崖の急坂で、雨が降った時は人も馬も滑って歩けなかったといわれています。名の由来は「鞍(馬)でも骨を折る」や「くらぼね」は連続した段丘崖を意味するなど諸説あります。



☑ 南町1丁目と小金井市貫井南町3丁目の間

5 貫井神社《小金井市》【都名湧水57選】

MAP B-5

貫井村の鎮守です。国分寺崖線下の岩の間ながら湧き出る水が境内をめぐり、池に注いでいます。

☑ 小金井市貫井南町3-8-6

6 滄浪泉園《小金井市》【都名湧水57選】

約12,000平方メートルの園内には湧水や池などの水辺や、スギやアカマツの樹木、野草などの多様な植物があり、深山の雰囲気漂います。

☑ 小金井市貫井南町3-2-28 ☑ なし ☎ 042-385-2664 ⏰ 9:00～17:00(入園は16:30まで)。大人(15歳以上)…100円、子供・60歳以上…50円 休 火曜日(祝日に当たる場合は翌水曜日)、年末年始(12/28～1/4)